

令和8年度

富山県道路安全・円滑化検討委員会

渋滞関係 説明資料

— 目 次 —

1. 渋滞対策の進め方	P 1
2. これまでの検討経緯	P 3
3. 渋滞状況のモニタリング	P 5
4. 主要渋滞箇所解除・追加	
4-1. 選定状況および解除・追加の考え方	P 9
4-2. 昨年度抽出した箇所の解除・追加方針	P 12
4-3. 今年度新たに抽出した箇所の概要	P 15
5. ピンポイント渋滞対策の検討	P 17
6. TDM（交通需要マネジメント）の取り組み	P 19
7. 災害時の交通マネジメント	P 22
8. その他トピックス	
8-1. ICT・AI等を活用した観光渋滞対策事例	P 25
8-2. 入善黒部バイパス（現道拡幅区間）の開通	P 26
9. 今後の進め方について	P 27

令和8年8月25日（火）

1. 渋滞対策の進め方

1. 渋滞対策の進め方

■ 本委員会の位置付け

出典：令和8年度道路関係予算概要 国土交通省道路局・都市局 P25

3 人流・物流を支えるネットワーク・拠点の整備

(5) 効率的・効果的な渋滞対策

■ ETC2.0等のビッグデータ等を活用し、時間的・空間的に偏在する課題に対して、効率的・効果的なハード対策やTDM等のソフト対策を実施します。

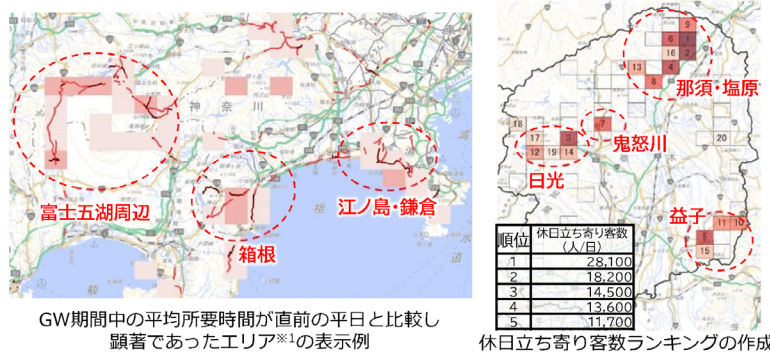
<背景/データ>

- ・全国の渋滞対策協議会等において特定した主要渋滞箇所は、高速道路約300箇所、一般道約8,100箇所（R6.9時点）
- ・渋滞などによるロスは自動車での年間の移動時間における約4割に相当（R3年度時点）
- ・GW期間中の混雑が平日より顕著なエリア※1：78箇所（R7）

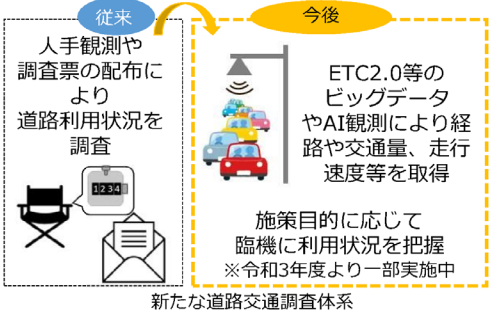
- 渋滞対策協議会※2において、トラックやバス等の利用者団体との連携を強化し、局所渋滞対策事業※3等の渋滞対策を推進
- 重要物流道路において円滑な交通を確保するため、沿道の施設立地者に対して、道路交通アセスメント※4の実施を求める運用を継続
- 大都市圏の高速道路における、ETC2.0等のビッグデータを用いたピンポイント渋滞対策の実施（事業中14箇所）
- 交通需要マネジメント（TDM）等により、交通需要を分散することで、交通容量を有効活用する取組を社会全体で推進
- 災害時は災害時交通マネジメント※5を行うとともに、「道路復旧見える化マップ」にて交通状況を公表

※1：平均所要時間が直前の平日と比較し顕著であったエリア
※2：各都道府県単位等で道路管理者、警察、自治体、利用者団体等が地域の主要渋滞箇所を特定し、ソフト・ハードを含めた対策を検討・実施するために設置
※3：P20参照
※4：立地前に周辺交通に与える影響を予測し対策を実施することで、既存の交通に支障なく施設を立地させるとともに、立地後に交通状況が悪化した場合の追加対策について検討

○観光地等への休日の車の経路情報等を分析して、地域の観光施策と組み合わせるなど地方創生を支援



○新たな道路交通調査体系の構築に向け、全国道路・街路交通情勢調査調査の高度化・効率化を推進



○情報通信技術や多様なビッグデータを活用し、道路空間を活用した地域経済活性化戦略や社会実験・実装に関する研究を目的に、有識者からなる地域道路経済戦略研究会を実施

※5：国土交通省、警察、地方公共団体、高速道路会社、学識経験者、関連団体、事業者等で構成

2. これまでの検討経緯

2. これまでの検討経緯

■ これまでの検討経緯と今回の議論のポイント

今回

これまでの主な議論内容	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/ R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
① 主要渋滞箇所関連															
主要渋滞箇所の特定および公表															
渋滞対策基本方針の策定															
渋滞状況のモニタリング															継続
主要渋滞箇所の解除・追加方針(案)															
主要渋滞箇所の解除・追加検討															177箇所 (R7末時点) 継続
主要渋滞箇所の評価手法の見直し															検討中※
② ピンポイント渋滞対策															
対策実施予定および 対策効果等の紹介															継続
③ その他の視点															
関連事業の紹介 (道路開通による整備効果 等)															継続
道路交通アセスメント関連															
コロナ情勢における交通分析															
災害への対応 (被災状況、マネジメント方針 等)															継続
その他(TDM施策、観光関連 等)															継続

【今回の議論のポイント】

※「主要渋滞箇所の評価手法の見直し」に関しては、今後、勉強会等を別途開催予定。

① 主要渋滞箇所関連

- 渋滞状況のモニタリング
- 主要渋滞箇所の解除・追加検討
 - ・ 過年度抽出した箇所の解除・追加方針
 - ・ 最新データによる新規抽出結果

② ピンポイント渋滞対策

- ピンポイント渋滞対策の検討対象箇所

③ その他の視点

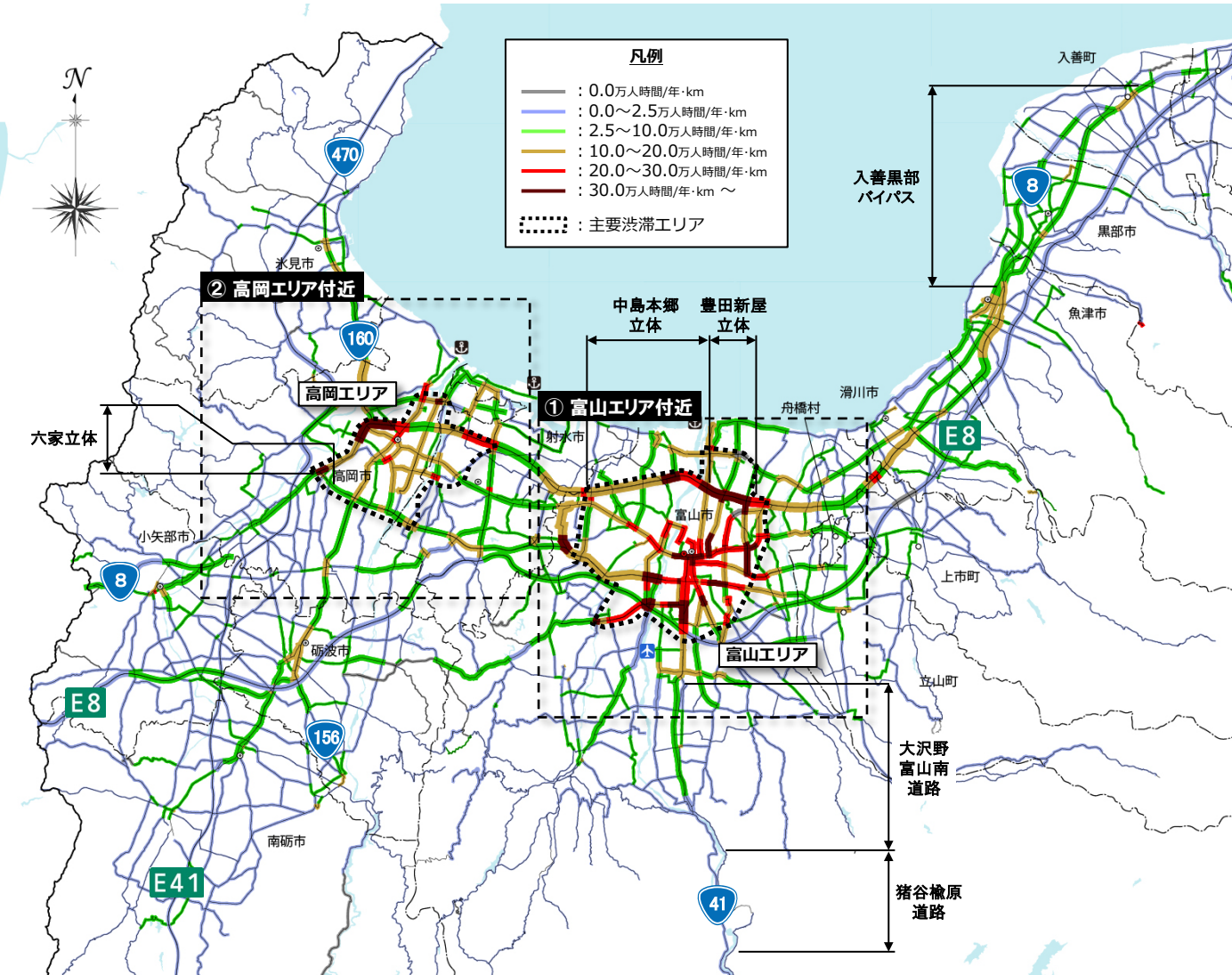
- TDM（交通需要マネジメント）の検討状況
- 災害時の交通マネジメント（令和7年8月 前線豪雨に伴う通行止め）
- ICT・AI等を活用した観光渋滞対策事例（あさひ舟川「春の四重奏」）
- 入善黒部バイパス（現道拡幅区間）の開通

3. 渋滞状況のモニタリング

3. 渋滞状況のモニタリング

(1) 渋滞損失時間の発生分布

- 富山県内の渋滞損失時間が多い区間は、富山市や高岡市の市街地を中心に広がっている。
- これら市街地の主要渋滞エリアにおける渋滞緩和・解消に向けては、個別のハード対策だけでなく、TDM(交通需要マネジメント)等のソフト対策も含め、面的に対策を検討していく必要がある。



【分析データ】
渋滞損失時間：ETC2.0プローブデータ
交通量：令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査
【集計期間】R7秋期平日（9-11月）

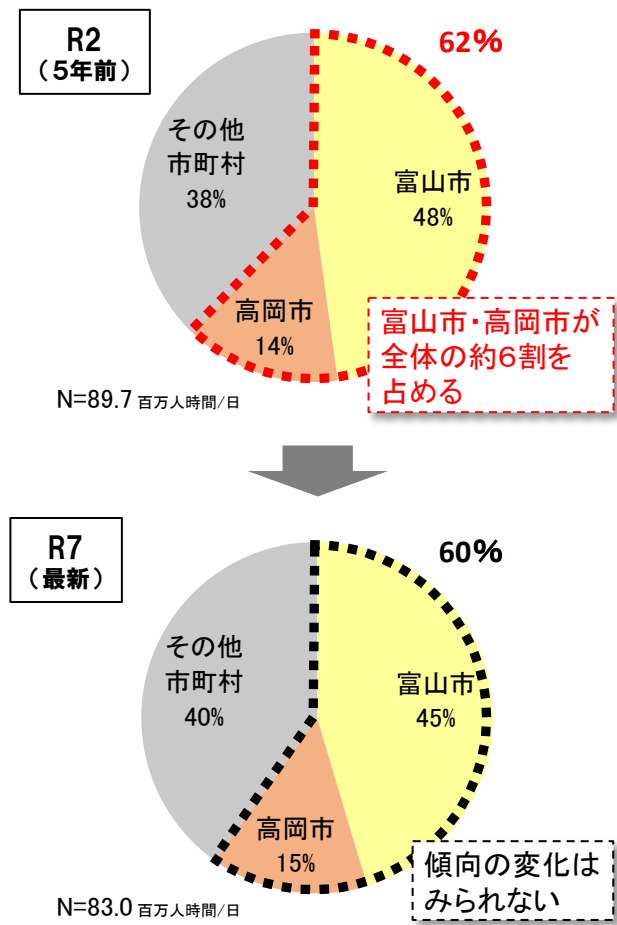


3. 渋滞状況のモニタリング

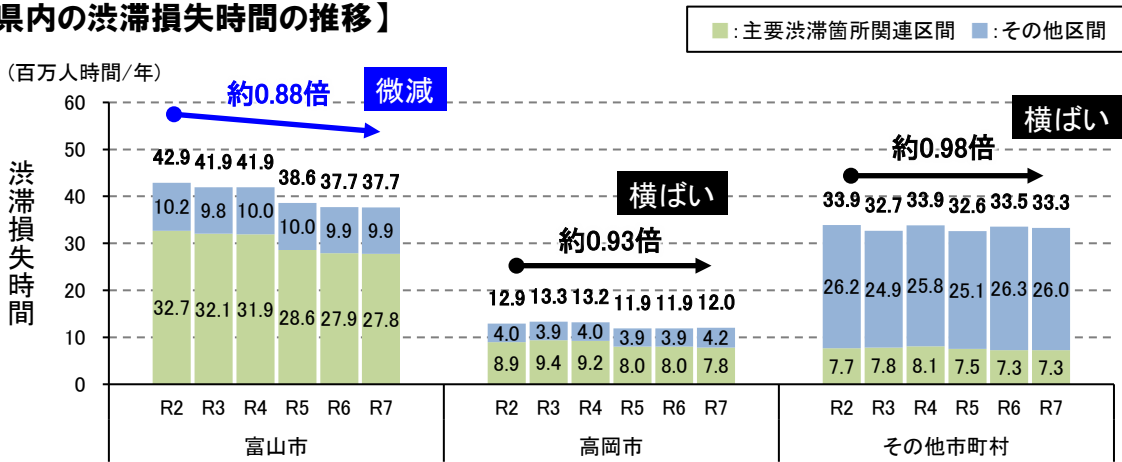
(2) 渋滞損失時間の経年比較

- 富山県内の渋滞損失時間は、富山市および高岡市が全体の約6割を占め、5年前と比べて傾向の変化はみられない。
- 令和元年度以降、富山市、高岡市およびその他市町村ともに、渋滞損失時間は概ね横ばいで推移。
- 県全体の渋滞損失時間のうち、上位10%の交差点が約半分を占めており、その多くは主要渋滞箇所に登録済み。

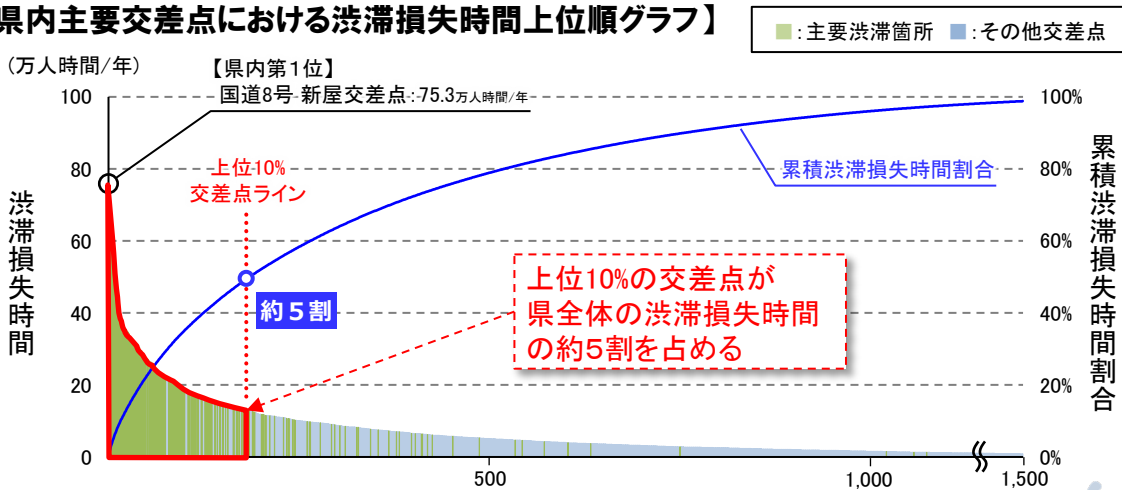
【県内の渋滞損失時間の発生分布】



【県内の渋滞損失時間の推移】



【県内主要交差点における渋滞損失時間上位順グラフ】



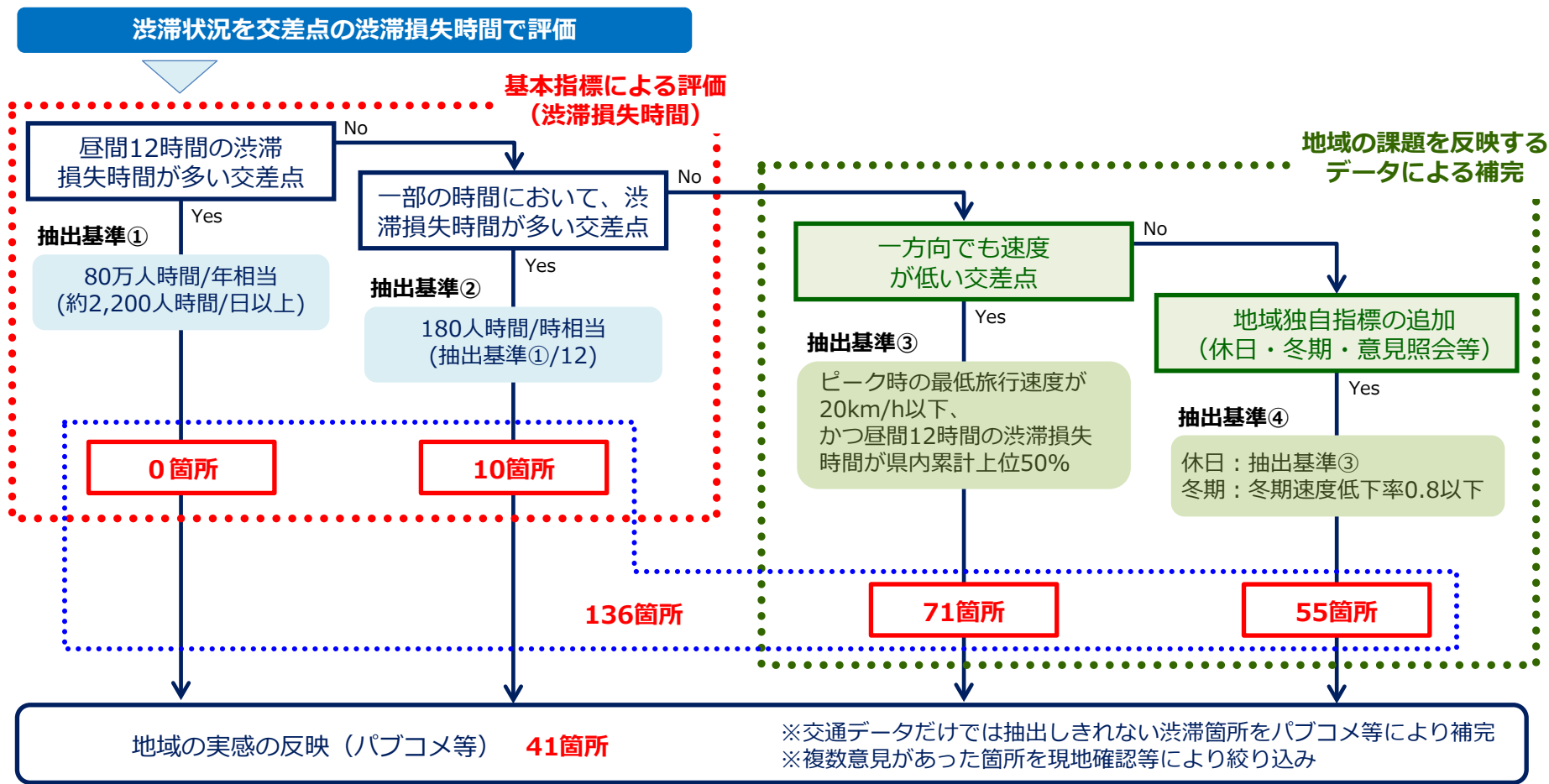
4. 主要渋滞箇所の解除・追加

4. 主要渋滞箇所の解除・追加 【4-1. 選定状況および解除・追加の考え方】

(1) 主要渋滞箇所の選定状況（令和7年度末時点）

- 主要渋滞箇所は、基本指標による評価に加え、地域の課題を踏まえた抽出基準により選定。
- 平成29年度以降、主要渋滞箇所の見直しを実施しており、現在177箇所が登録されている。

【主要渋滞箇所 選定フロー】



富山県の主要渋滞箇所 177箇所を選定

※渋滞損失時間
自由に走行できる状態からの遅れで、利用者が損失している時間の合計

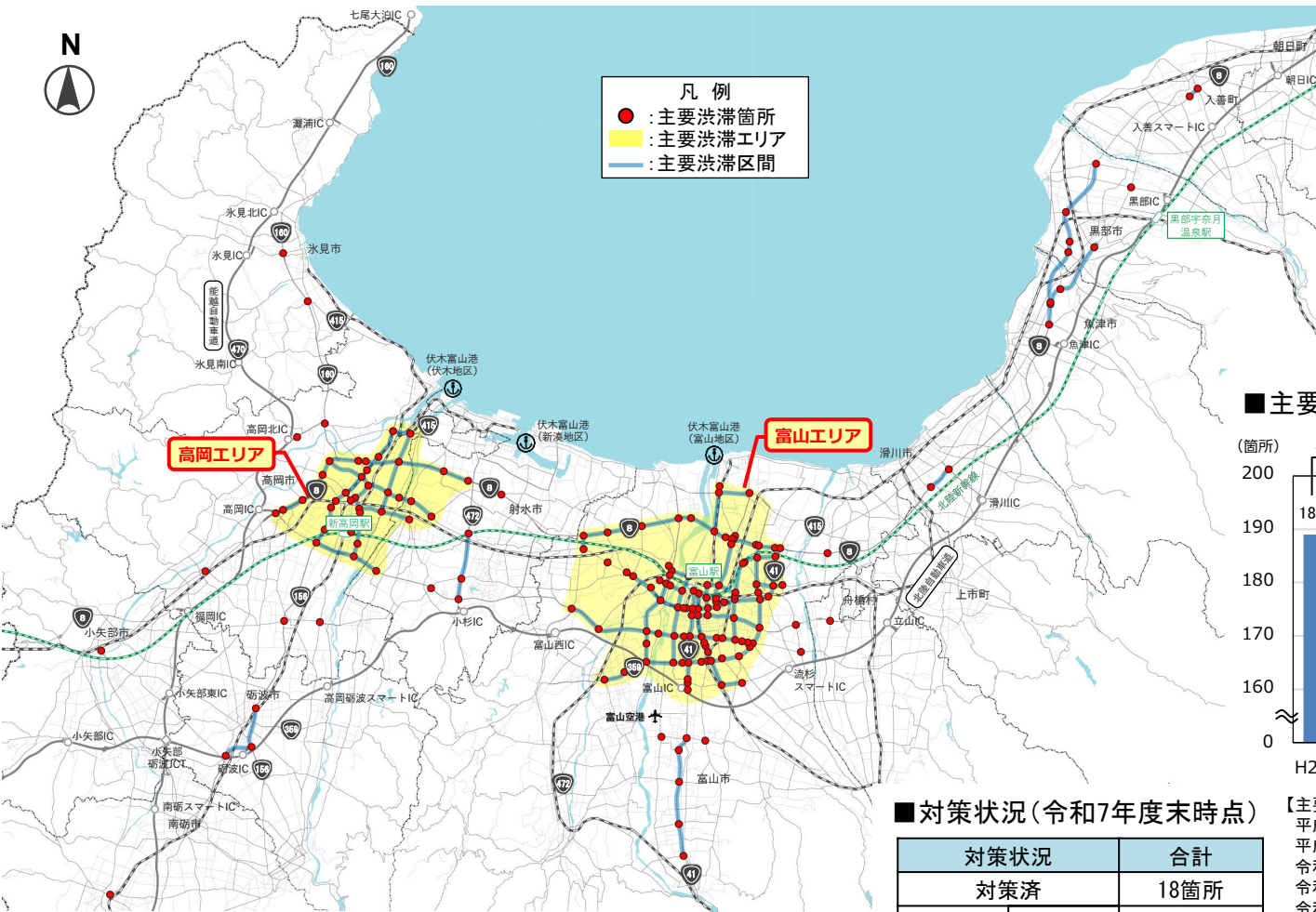
※各抽出基準を判定するデータ
抽出基準①～③は秋期平日、抽出基準④の休日は秋期休日、冬期は冬期平日のデータを利用

4. 主要渋滞箇所 の 解除・追加 【4-1. 選定状況および解除・追加の考え方】

(1) 主要渋滞箇所の選定状況（令和7年度末時点）

- 富山県における主要渋滞箇所の登録箇所数は、令和7年度末時点で177箇所。
- 主要渋滞箇所は、富山エリア・高岡エリアの両市街地部を中心に多く存在。

【主要渋滞箇所 位置図】

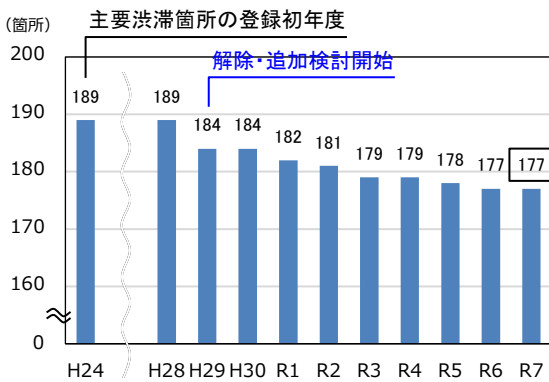


【主要渋滞エリア】
主要渋滞箇所や区間が面的に広がっており、複数路線に跨り主要渋滞箇所を含む区域
【主要渋滞区間】
交差点が連坦するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

■抽出基準別 選定状況

- 抽出基準①：0箇所
- 抽出基準②：10箇所
- 抽出基準③：71箇所
- 抽出基準④：55箇所
- パブコメ：41箇所
- 主要渋滞箇所総数：177箇所

■主要渋滞箇所数の推移



■対策状況(令和7年度末時点)

対策状況		合計
対策済		18箇所
未対策	対策中	58箇所
	検討中	101箇所
合計		177箇所

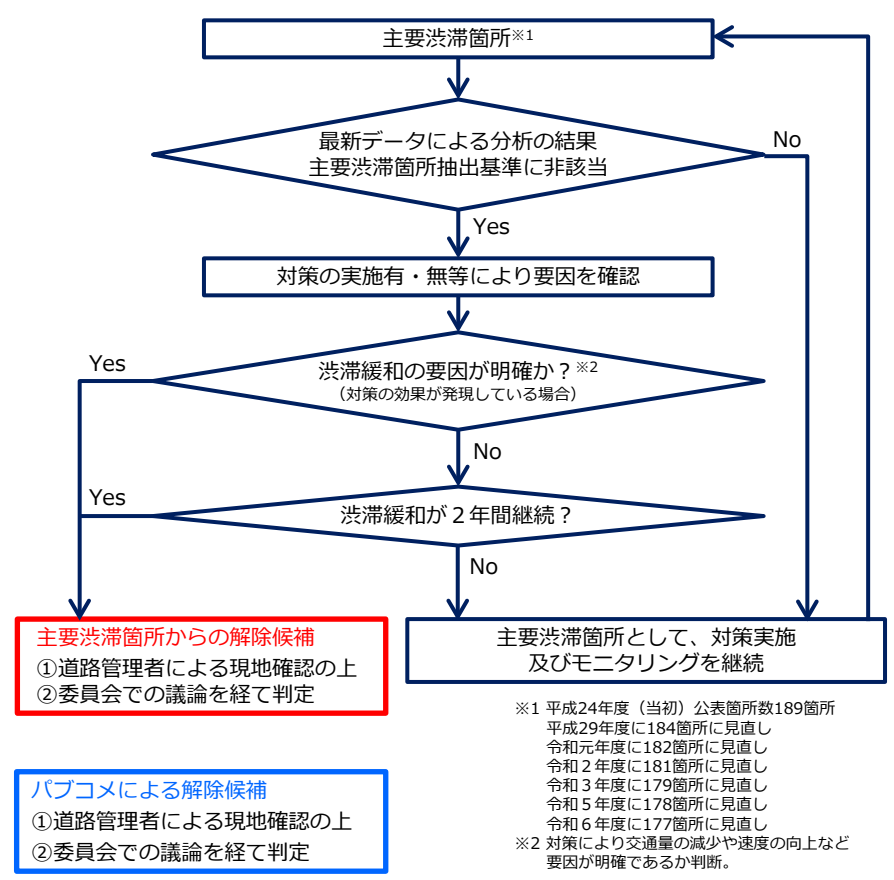
【主要渋滞箇所 解除・追加の経緯】
平成24年度指定：189箇所特定
平成29年度指定：12箇所解除 7箇所追加 計184箇所
令和元年度指定：4箇所解除 2箇所追加 計182箇所
令和2年度指定：2箇所解除 1箇所追加 計181箇所
令和3年度指定：2箇所解除 0箇所追加 計179箇所
令和5年度指定：1箇所解除 0箇所追加 計178箇所
令和6年度指定：3箇所解除 2箇所追加 計177箇所
令和7年度指定：本委員会が審議予定
(解除候補3箇所 追加候補0箇所)

4. 主要渋滞箇所の解除・追加【4-1. 選定状況および解除・追加の考え方】

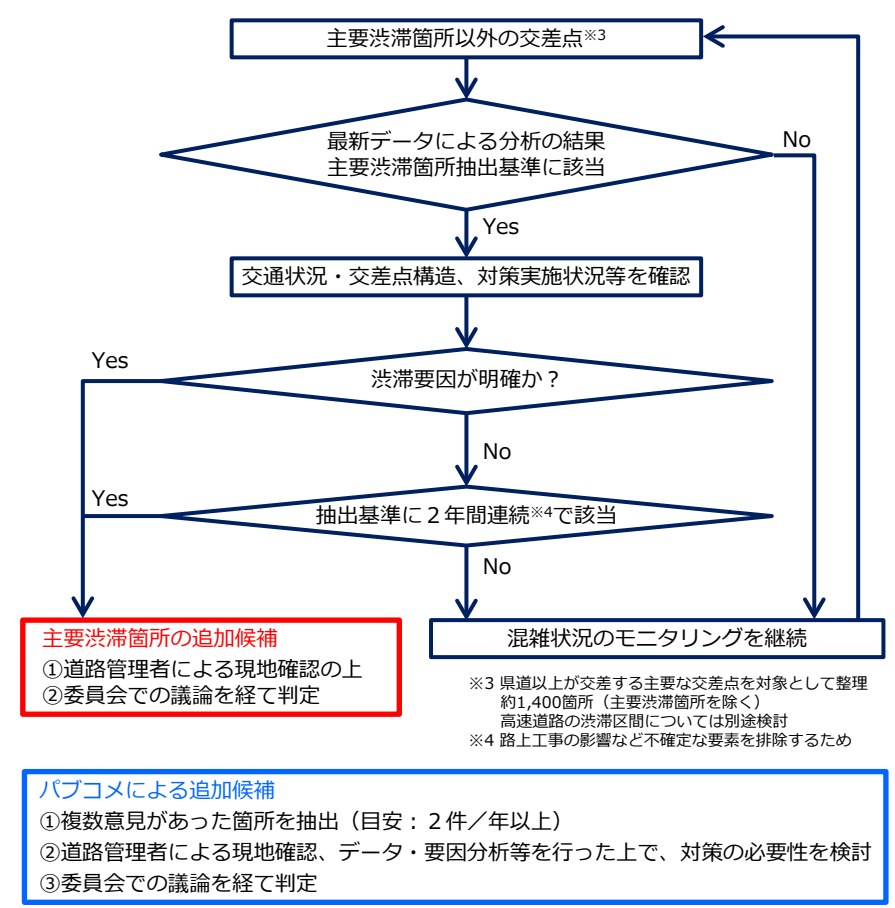
(2) 解除・追加箇所の考え方

- 富山県内の主要渋滞箇所の解除・追加は、各判定フローに基づき、最新データによる抽出基準の該当状況や交通状況を踏まえ、解除・追加候補箇所を抽出。
- 道路管理者による現地確認のうえ、解除・追加箇所を選定。

【主要渋滞箇所の解除フロー】



【主要渋滞箇所の追加フロー】



4. 主要渋滞箇所の解除・追加 【4-2. 昨年度抽出した箇所の解除・追加方針】

(1) 令和7年度 解除候補箇所の概要

※令和7年度委員会 資料P22を一部修正

- 今年度、解除候補として抽出した3箇所については、いずれも対策実施済み。
- 対策実施により、渋滞損失時間が基準値以下となっていることを確認したことから解除を検討。
- 今後、データ分析結果を補完するため現地確認を行い、実際の渋滞状況や解除の妥当性等を検証する。

今回報告

【今年度新たに抽出した解除候補箇所（3箇所）】

【主要渋滞箇所の抽出条件】
基準①：渋滞損失時間80万人時間/年以上
基準②：渋滞損失時間180人時間/時以上
基準③：渋滞損失時間県内累計上位50%以上 かつ 最低旅行速度20km/h以下
基準④：【休日】休日データで基準③に該当
【冬期】冬期データで基準③に該当 かつ 冬期速度低下率0.8以下

解除 フロー 該当状況	No.	路線名	交差点名	市町村	選定 年度	選定基準 (当初)	分析 データ	抽出基準該当状況の判定に用いる指標値									混雑緩和要因／解除理由
								【参考】H24選定時			R5			R6			
								渋滞損失 (人時間/日)	最低速度 (km/h)	冬期速度 低下率	渋滞損失 (人時間/日)	最低速度 (km/h)	冬期速度 低下率	渋滞損失 (人時間/日)	最低速度 (km/h)	冬期速度 低下率	
								基準値:373	基準値:20	基準値:0.8	基準値:367	基準値:20	基準値:0.8	基準値:354	基準値:20	基準値:0.8	
渋滞緩和が 2年継続	①	一般国道471号	泉町交差点	小矢部市	H24	パブコメ	秋期 平日	—	—	—	225.7	11.7	—	194.3	18.8	—	「交差点改良(右折相当幅 の確保)」の完了に伴う渋 滞緩和。
	②	(主)富山立山 公園線	利田曾我 交差点	立山町	H24	抽出基準④ (冬期)	冬期 平日	446.2	20.0	0.72	349.3	21.2	0.92	330.0	22.4	0.78	「富立大橋4車線化」の完 了に伴う渋滞緩和。
	③	一般国道415号	中田交差点	富山市	H24	抽出基準③	秋期 平日	458.2	16.3	—	338.7	17.5	—	353.7	13.8	—	「富山東バイパス」の完了 に伴う渋滞緩和。

【解除候補箇所 位置図】



4. 主要渋滞箇所の解除・追加 【4-2. 昨年度抽出した箇所の解除・追加方針】

(2) 令和7年度 解除候補箇所の判定結果

- 昨年度抽出した解除候補3箇所について、現地確認を実施。
- ②利田曾我交差点については、現地確認の結果、渋滞が確認されたため、**解除を保留(モニタリング継続)**。
- その他2箇所(①、③)については、目立った渋滞や交通混雑が確認されなかったため**解除判定**とする。

【昨年度抽出した解除候補箇所(3箇所)】

No.	路線名	交差点名	市町村	解除判定 (案)	現地確認結果
①	一般国道471号	泉町交差点	小矢部市	解除	➤目立った渋滞や交通混雑が確認されなかったため、解除
②	(主)富山立山公園線	利田曾我交差点	立山町	保留	➤主道路側は4車線化により渋滞や交通混雑は緩和されたが、従道路側で朝夕の通勤・通学時間帯を中心に渋滞が確認されたため、解除の判断を保留。(モニタリング継続)
③	一般国道415号	中田交差点	富山市	解除	➤目立った渋滞や交通混雑が確認されなかったため、解除

■広域図



① 一般国道471号 泉町交差点



現地確認日: 令和8年5月19日(火) 8:10頃

② (主)富山立山公園線 利田曾我交差点



現地確認日: 令和8年5月13日(水) 17:30頃

③ 一般国道415号 中田交差点



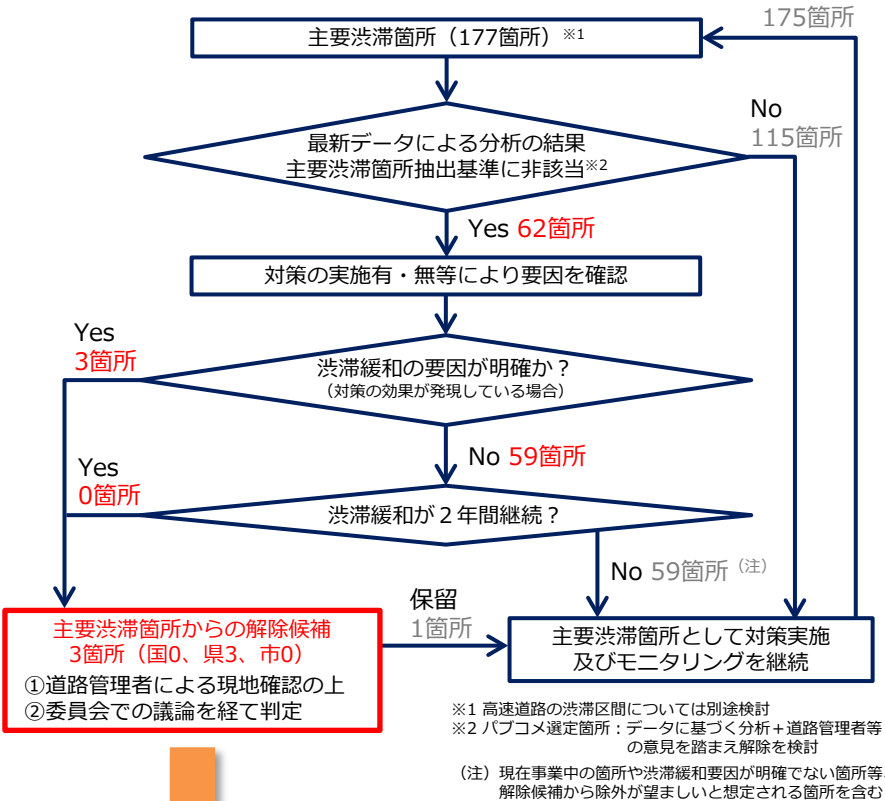
現地確認日: 令和8年5月18日(月) 8:15頃

4. 主要渋滞箇所の解除・追加 【4-2. 昨年度抽出した箇所の解除・追加方針】

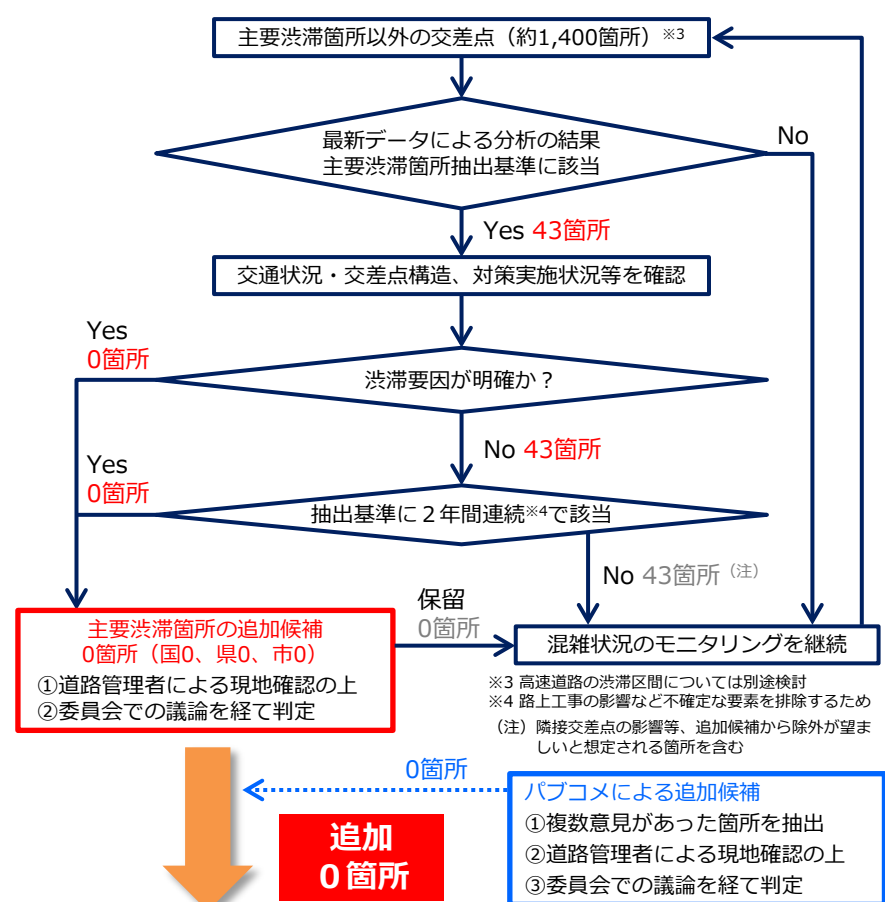
(3) 主要渋滞箇所の見直し結果（令和7年度指定）

- データ分析結果および現地確認結果を踏まえ、解除2箇所、追加0箇所とする。
- 今後も引き続き渋滞対策を推進し、渋滞損失時間の削減に努める。

【主要渋滞箇所の解除フロー】



【主要渋滞箇所の追加フロー】



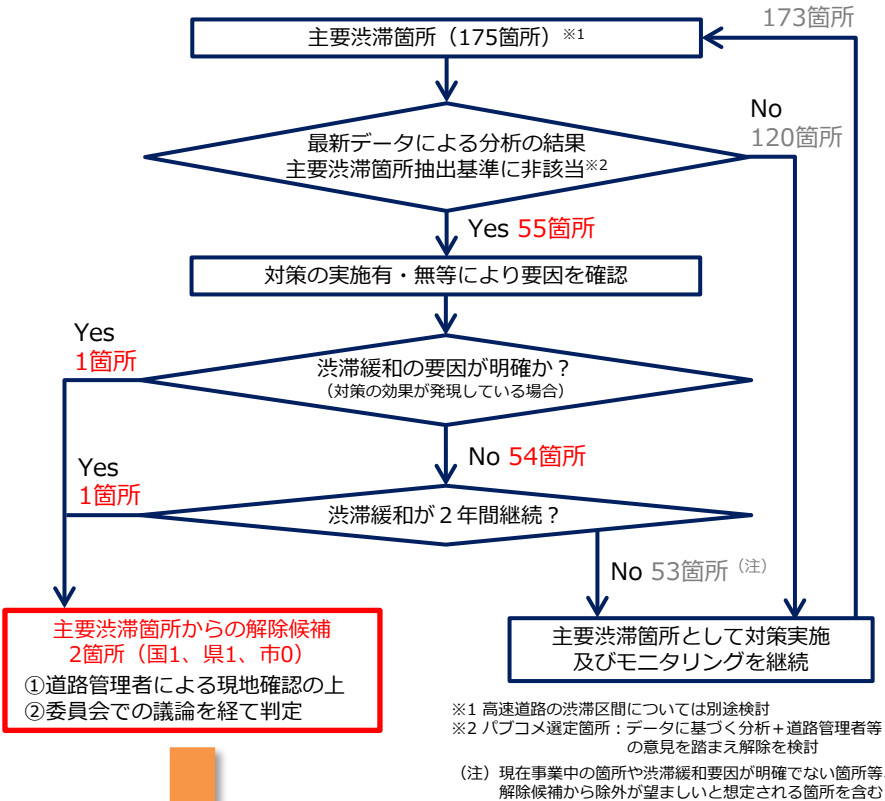
令和7年度指定 主要渋滞箇所
見直し前177箇所 → 見直し後175箇所

4. 主要渋滞箇所の解除・追加 【4-3. 今年度新たに抽出した箇所の概要】

(1) 解除・追加候補箇所の抽出結果（令和8年度指定）

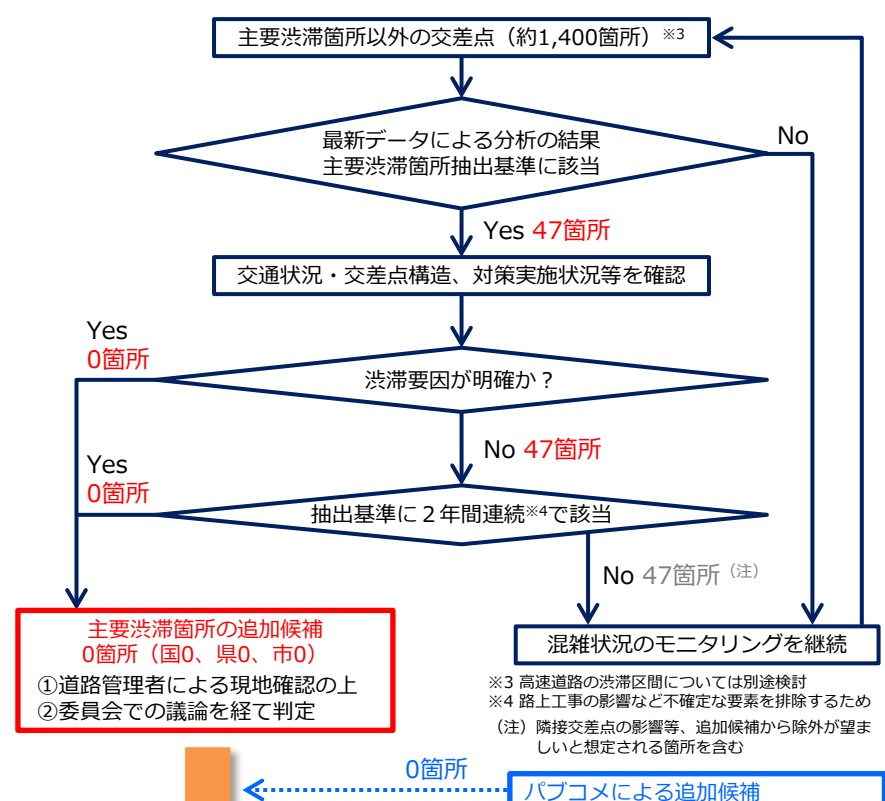
- 主要渋滞箇所の解除・追加フローに基づき、最新データ(令和7年)を用いて、今年度新たに解除候補2箇所を抽出。(追加候補箇所は、該当なし)

【主要渋滞箇所の解除フロー】



令和8年度指定 解除候補箇所：2箇所

【主要渋滞箇所の追加フロー】



0箇所
バブコメによる追加候補
①複数意見があった箇所を抽出
②道路管理者による現地確認の上
③委員会での議論を経て判定

令和8年度指定 追加候補箇所：0箇所

4. 主要渋滞箇所の解除・追加 【4-3. 今年度新たに抽出した箇所の概要】

(2) 令和8年度 解除候補箇所の概要

- 今年度新たに解除候補として抽出した2箇所については、選定時に対し渋滞損失時間が大幅に減少しており、近年継続して抽出基準に非該当であることから解除を検討。
- 今後、データ分析結果を補完するため現地確認を行い、実際の渋滞状況や解除の妥当性等を検証する。

【今年度新たに抽出した解除候補箇所（2箇所）】

【主要渋滞箇所の抽出条件】
基準①：渋滞損失時間80万人時間/年以上
基準②：渋滞損失時間180人時間/時以上
基準③：渋滞損失時間県内累計上位50%以上 かつ 最低旅行速度20km/h以下
基準④：【休日】休日データで基準③に該当
【冬期】冬期データで基準③に該当 かつ 冬期速度低下率0.8以下

解除フロー 該当状況	No.	路線名	交差点名	市町村	選定 年度	選定基準 (当初)	分析 データ	抽出基準該当状況の判定に用いる指標値						混雑緩和要因／解除理由
								【参考】H24選定時		R6		R7		
								渋滞損失 (人時間/日)	最低速度 (km/h)	渋滞損失 (人時間/日)	最低速度 (km/h)	渋滞損失 (人時間/日)	最低速度 (km/h)	
								基準値:373	基準値:20	基準値:354	基準値:20	基準値:357	基準値:20	
渋滞緩和 要因が明確	①	一般国道156号	戸出狼交差点	高岡市	H24	抽出基準③	秋期 平日	458.0	11.8	294.6	12.2	291.7	13.1	➤ 従道路側の「右折レーン設置」により、 渋滞が緩和したものと考えられる。
渋滞緩和が 2年継続	②	(主)新湊庄川線	大門総合 会館前交差点	射水市	H24	抽出基準④ (休日)	秋期 休日	393.5	7.0	181.7	9.9	164.0	9.9	➤ 対策未実施であるが、周辺道路整備に よる交通流の変化により、渋滞が緩和し たものと考えられる。

【解除候補箇所 位置図】

■ 広域図

① 一般国道156号 戸出狼交差点

位置図: 富山県内、高岡市戸出地区の国道156号と富山戸出小矢部線の交差点。右折レーン設置(R5.11完了)の位置が示されている。

【写真】 ①一般国道156号 戸出狼交差点 対策実施状況

対策前

対策後

② (主)新湊庄川線 大門総合会館前交差点

位置図: 射水市大門地区の新湊庄川線と越中大門駅の交差点。周辺の鉄道（あいの風とやま鉄道、北陸新幹線）と道路（高岡青井谷線）が示されている。

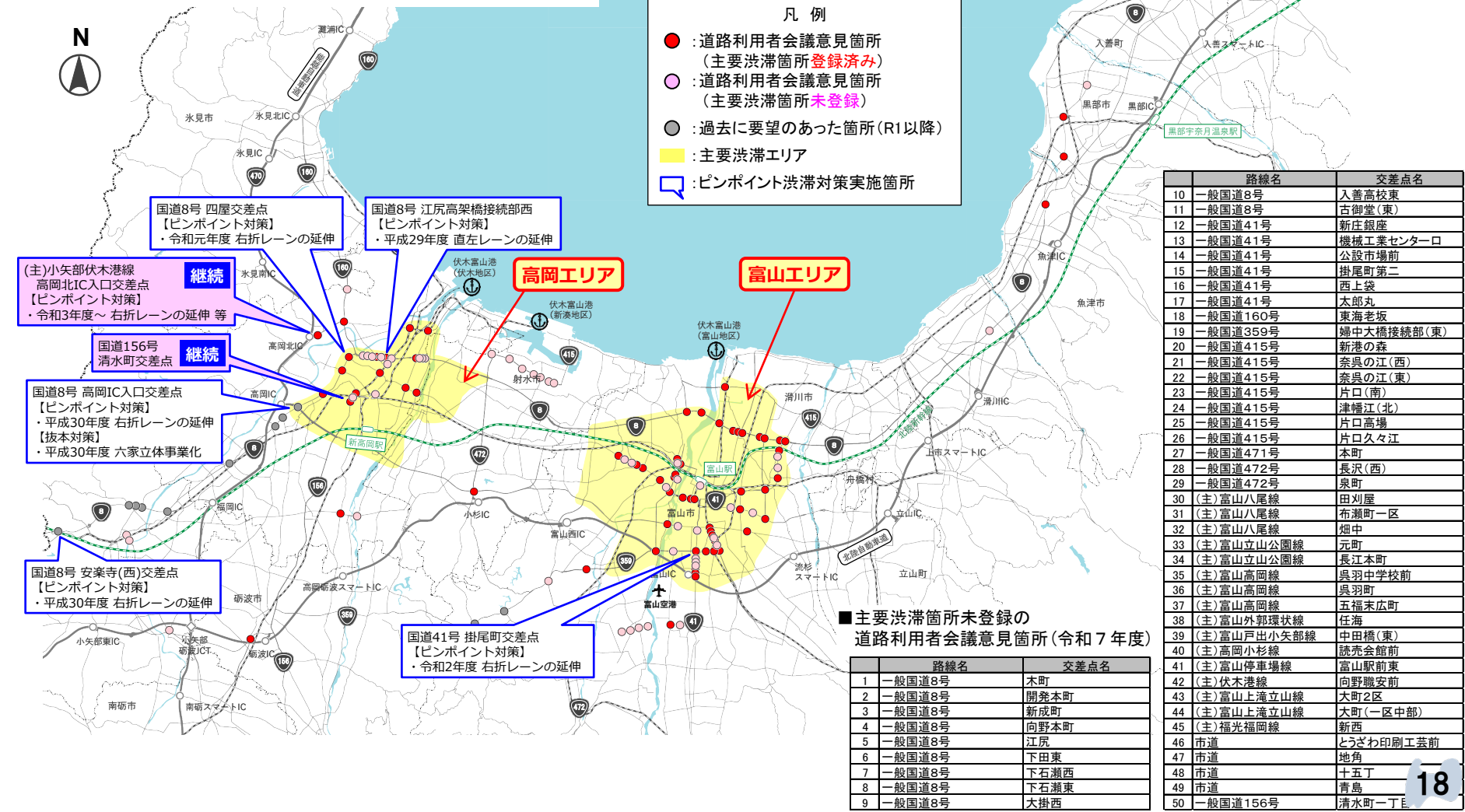
5. ピンポイント渋滞対策の検討

5. ピンポイント渋滞対策の検討

■ ピンポイント渋滞対策の検討対象箇所

- 昨年度の道路利用者会議では、「全118箇所」が混雑箇所として挙げられた。
- 令和3年度より対策を進めている「高岡北IC入口交差点」については、追加対策にむけ、対応方針を検討中。
- 令和6年度に対策候補箇所を選定した「国道156号 清水町交差点」は、対策内容検討に向け渋滞要因分析を実施中。

【道路利用者会議による混雑意見箇所（令和7年度）】



6. TDM(交通需要マネジメント)の取り組み

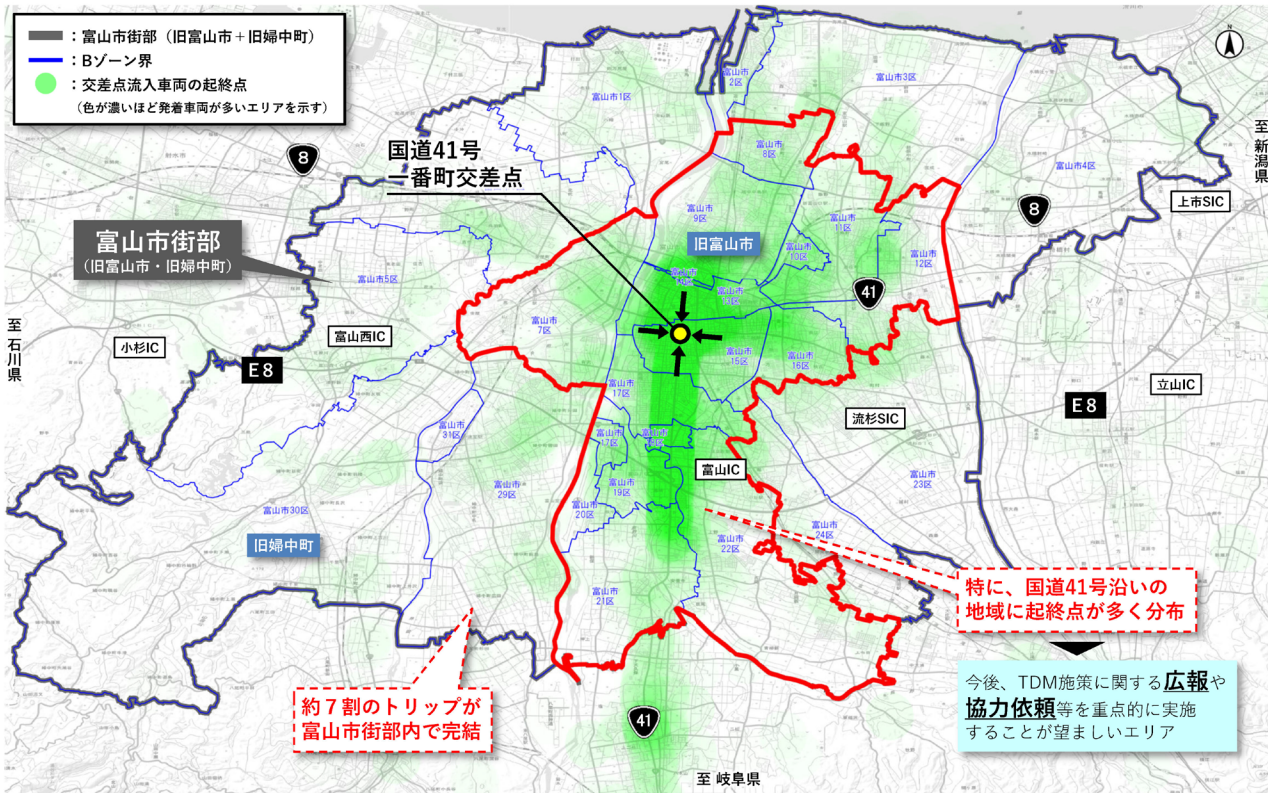
6. TDM(交通需要マネジメント)の取り組み

(1) 昨年度委員会における報告内容

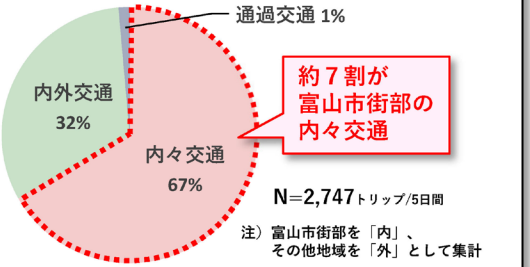
※令和7年度委員会 資料P29に追記

- 代表検討対象箇所として選定した「国道41号 一番町交差点」に流入する車両の交通特性を分析。
- 当該交差点に流入するサンプルは、全体の約7割が富山市街部※の内々交通となっており、富山市街部内で完結する短トリップが多い。この結果から、TDM施策の対象とすべきエリアは、富山市街部※とすれば大半のサンプルをカバーすることで、十分な効果が得られるものと推定される。
- 今後はTDM施策の具体化に向けて、人流ビックデータを活用し、詳細なODデータや交通手段、移動目的等を分析。

【代表検討対象箇所（国道41号 一番町交差点）に流入する車両の発着地分布】



【OD内訳（4方向計）】 **今回報告**



着 (Destination)		県内										県外		
		富山市市街部	富山市旧山部	富山市旧婦中町	富山市旧小矢部	富山市旧新川	富山市旧高岡	富山市旧射水	富山市旧小矢部	富山市旧新川	富山市旧高岡	富山市旧射水	富山市旧小矢部	富山市旧新川
発 (Origin)	富山市市街部	61%	1%	4%	2%	2%	0%	3%	0%	1%				
1	富山市市街部	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%				
2	富山市市街部	5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%				
3	富山市市街部	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%				
4	富山市市街部	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%				
5	富山市市街部	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%				
6	富山市市街部	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%				
7	富山市市街部	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%				
8	富山市市街部	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%				
9	富山市市街部	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%				
10	富山市市街部	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%				

■ 内々交通 ■ 内外交通 ■ 通過交通

【分析条件】

- ・使用データ：ETC2.0プローブデータ 様式1-2
- ・集計期間：R5.10.16 (月)～R5.10.20 (金) 【5日間】
- ・時間帯：平日ピーク時間帯 (7～9時および17～19時の合算)
- ・対象箇所：国道41号 一番町交差点 (交差点流入4方向)
- ・対象車両：小型車 (通勤・通学を目的とする車両を想定)
- ・地域区分 (富山市以外)
- 高岡・射水地域：高岡市、氷見市、射水市 (3市)
- 砺波・小矢部地域：砺波市、小矢部市、南砺市 (3市)
- 新川地域：黒部市、滑川市、南砺市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町 (8市町村)

今後は、TDM施策のさらなる具体化に向けて、人流ビックデータを活用し、詳細なODデータや交通手段、移動目的といった分析を通じて、より効果的な施策の検討を進めていく予定

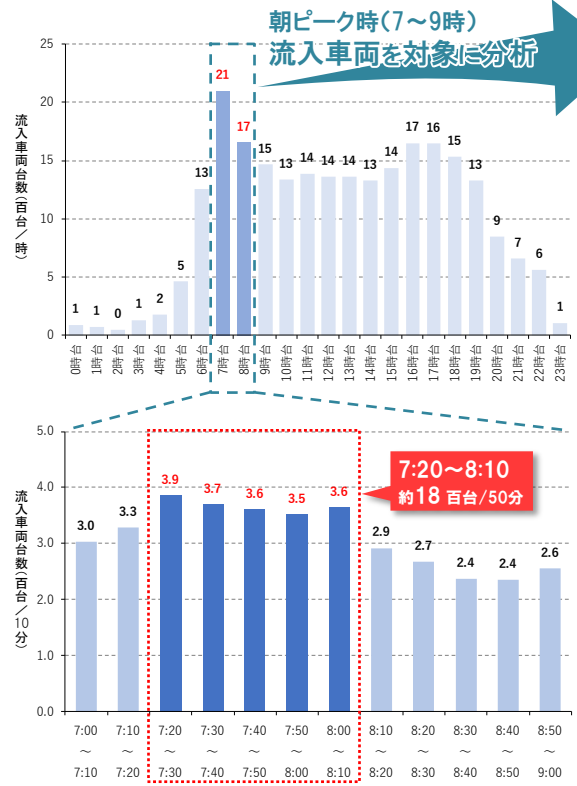
6. TDM(交通需要マネジメント)の取り組み

(2) 検討状況に関する中間報告(人流データを活用した交通特性分析)

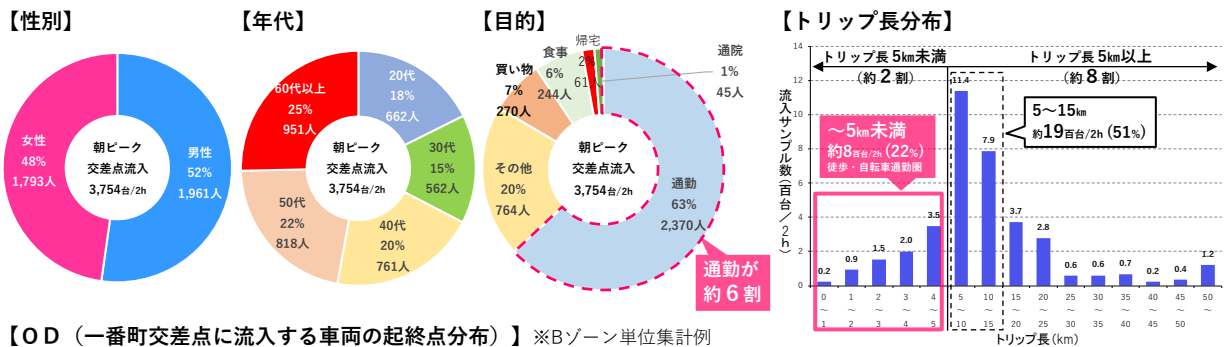
- 「国道41号 一番町交差点」の流入交通は、約8割が市街地内完結の内々交通、約6割が通勤目的であり、近郊居住層の集中が混雑の主な原因となっており、特に7時20分～8時10分に集中している。
- 朝ピーク時において、徒歩・自転車への転換が容易な「5km未満」の短距離層が22%(約818台/日)存在することを人流データにより特定した。
- この分析に基づき、①短距離層の「手段変更(徒歩・自転車等)」、②ピーク層の「時間帯変更(時差出勤)」をTDM施策の柱として推進し、交通需要の平準化を図ることが有効と考えられる。

【一番町交差点流入車両の交通特性分析】

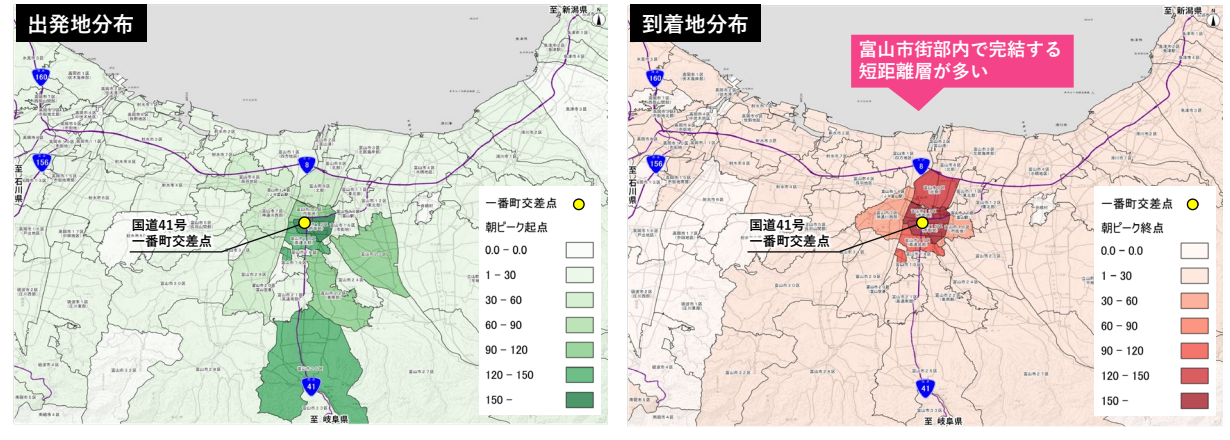
【時間帯別 交差点流入車両台数】



データ出典: (株)GEOTRAが提供する人流データ(GEOTRA Activity Data)
※令和7年4月8日～5月7日の平日(19日間)の平均値



【OD (一番町交差点に流入する車両の起終点分布)】 ※Bゾーン単位集計例



分析結果を踏まえ、短距離利用者に対する「①手段変更(徒歩・自転車等への転換)」およびピーク時間帯利用者に対する「②時間帯変更(時差出勤)」をTDM施策の柱として推進し、交通需要の平準化を図ることが有効と考えられる。今後は、施策の実現に向けて関係機関との調整を進める予定。

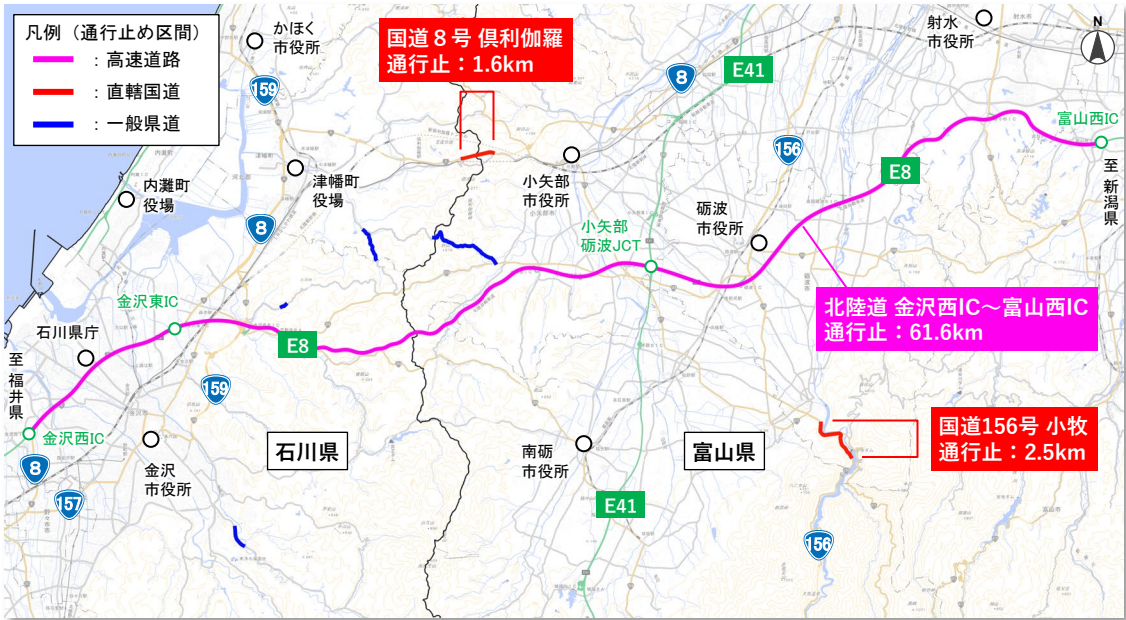
7. 災害時の交通マネジメント

7. 災害時の交通マネジメント

令和7年8月7日からの大雨による交通影響と対応状況

- 北陸地方では8月7日から大雨となり、富山県内でも連続雨量が規制値に達したことから、国道8号や国道156号などで雨量規制による通行止めを実施。通行止めの実施にあたっては、SNSや記者発表等を通じて早期の情報提供・注意喚起を行い、交通混乱の回避を図った。

【富山・石川県境付近における通行規制状況】



出典(通行規制状況):国土交通省 令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨 道路の被害状況マップ

【大雨の被災状況および対応状況】



【大雨に関する主な対応状況】

日時	対応者	対応内容
R7.8.7 2:54	気象庁	大雨警報の発表(富山市、高岡市、氷見市等)
R7.8.7 4:03	気象庁	洪水警報の発表(富山市、魚津市、小矢部市、南砺市等)
R7.8.7 7:00	国土交通省	国道8号「倶利伽羅」通行止め予告を発表
R7.8.7 7:20	気象庁 富山県	土砂災害警戒情報の発表(高岡市、小矢部市等)
R7.8.7 7:30	国土交通省	国道8号「倶利伽羅」通行止め
R7.8.7 8:20	国土交通省	国道160号「阿尾」および「中波」通行止め予告を発表
R7.8.7 9:30	国土交通省	国道156号「小牧」通行止め予告を発表
R7.8.7 11:00	国土交通省	国道156号「小牧」通行止め
R7.8.7 15:00	国土交通省	国道160号「阿尾」および「中波」当面、通行止めの可能性がなくなったことを発表
R7.8.7 15:45	国土交通省	国道8号「倶利伽羅」雨量規制による通行止め解除
R7.8.7 16:00	国土交通省	国道156号「小牧」雨量規制による通行止め解除

【SNSや記者発表等を活用した情報提供】

国土交通省 北陸地方整備局
富山河川国道事務所
金沢河川国道事務所

記者発表資料
令和7年8月7日
配布:県政記者クラブ
扱い:配布後解禁

国道8号雨量規制による「通行止」の予告について

とやま おやべ あんらくじ いしかわ かほく つばたまつづらおり
国道8号富山県小矢部市安楽寺～石川県河北郡津幡町九折では、降り始めからの連続雨量が、8月7日4時50分時点において規制値(180mm)の70%(126mm)に達しました。
今後、この区間で連続雨量が規制値を超えると土砂崩落の危険性があるため、「通行止め」となりますので、道路情報にご注意下さい。

路線	規制区間	延長	通行規制 連続雨量	現在の 連続雨量
国道8号	富山県小矢部市安楽寺～石川県河北郡津幡町九折	約10.5km	180mm	126mm

国土交通省 富山河川国道事務所 @mit_toyama

Show translation

【⚠️通行止めの可能性があります⚠️】
国道8号の富山石川県境部で降雨が継続し、基準値の70%の越えている状況です。
このままいきますと、通行止め基準に達する可能性があります。

朝の通勤時間帯と重なる可能性もありますので最新情報のご確認をお願いします。

国土交通省 富山河川国道事務所 @mit_toyama · Aug 7, 2025

⚠️道路情報⚠️
富山県内では引き続き大雨となっております。
最新の気象情報・道路情報にご注意ください。
jma.go.jp/bosai/realtime...
#大雨の際は富山河川のXをチェック

LINEで通報#9910

5:42 AM · Aug 7, 2025 · 30.5K Views

8. その他トピックス

8. その他トピックス 【8-1. ICT・AI等を活用した観光渋滞対策事例】

■ あさひ舟川「春の四重奏」開催期間中における国道8号の混雑状況とその対応

- あさひ舟川「春の四重奏」は、残雪の北アルプスを背景に桜・チューリップ・菜の花が織りなす春の絶景として知られる富山県を代表する観光スポットであり、イベント期間中は毎年多くの来訪者が訪れるため、会場周辺では交通混雑が発生。
- 朝日町では交通混雑の抑制を目的として、駐車場の有料化や近隣駅から会場へのシャトルバス運行による一般車両の流入削減の取り組んできたことに加え、令和8年度から来場する車を対象とした指定駐車場の事前予約システムを導入。
- これら取組みの結果、令和8年度は来訪交通の分散化及び一般車両の過剰流入抑制が図られ、会場周辺の交通混雑が緩和。

【あさひ舟川『春の四重奏』2026】

イベント期間 4月3日(金)～16日(木) 桜の開花状況によって期間を変更する可能性があります。

あさひ舟川 春の四重奏 2026

Asahi Funagawa "Spring Quartet" 2026

残雪の朝日岳・白馬岳
桜並木
菜の花

指定駐車場が事前予約制になりました

指定駐車場予約チケットの購入はこちら

決済方法: クレジットカード・PayPay・コンビニ決済

・駐車場のご利用にはチケットが必要です。・チケットにより駐車可能時間が決まっています。
・チケットの購入は右記二次元コードからアクセスください。
・チケット購入について問い合わせ先: JTB 富山支店 TEL.076-431-7581

駐車整理料 (1台あたり)	一般車	タクシー	小型・マイクロバス	大型・中型バス
	1,500円	2,000円	6,000円	10,000円

3月27日(金)販売開始
あい風の風とやま鉄道 春の四重奏きっぷ 往復1,000円
4月3日(金)～4月16日(木) 01:00～1日間有効

最新情報は こちらから

富山県観光協会 ホームページ

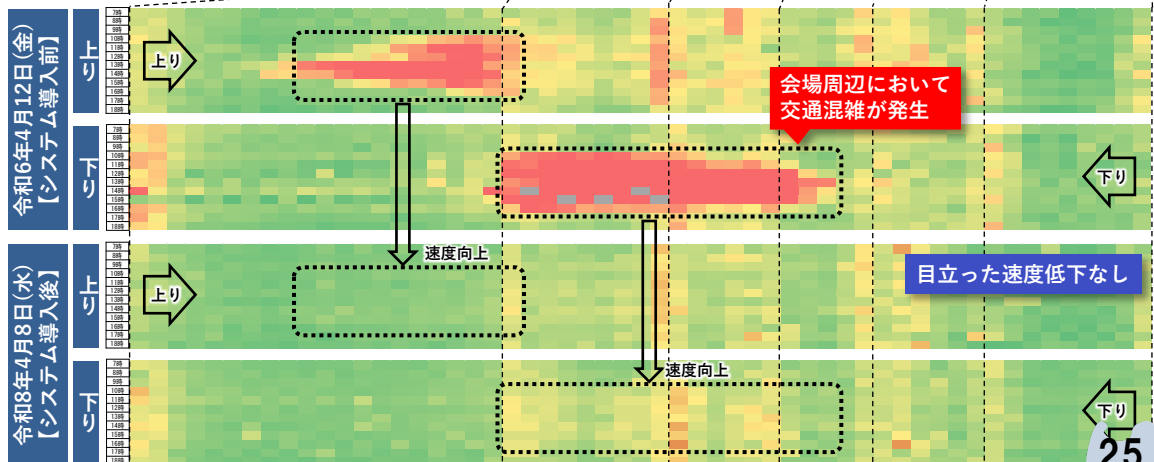
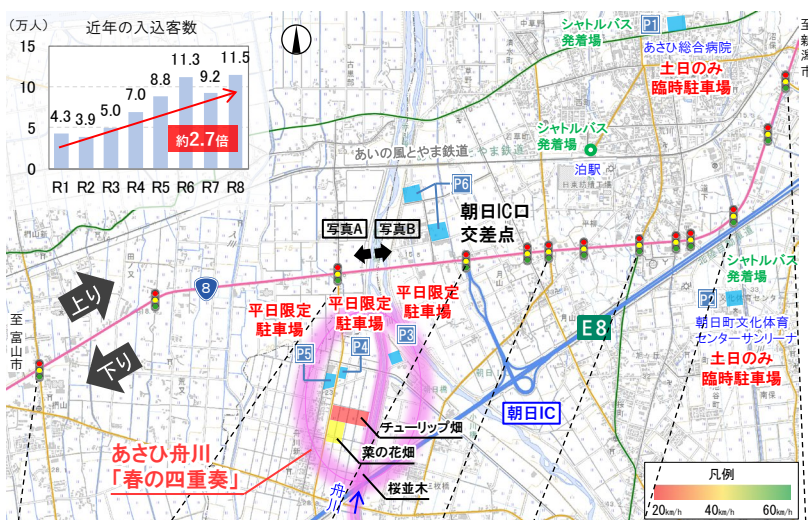
富山の観光情報

あさひ舟川「春の四重奏」

あさひ舟川 富山県朝日町観光協会

あさひ舟川「春の四重奏」2026 実行委員会
会長: 朝日町 朝日町観光協会 (一社) 朝日町観光協会
副会長: 朝日町 朝日町観光協会 (一社) 朝日町観光協会
事務局: 朝日町 朝日町観光協会 (一社) 朝日町観光協会
TEL: 0765-83-1100 (代表)
TEL: 0765-83-2780

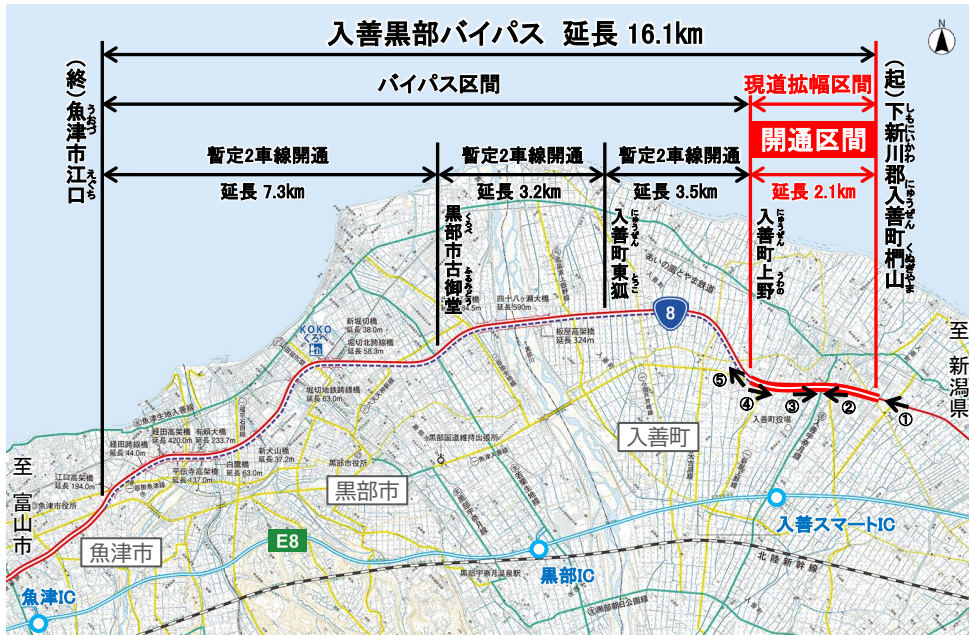
【国道8号 混雑状況】



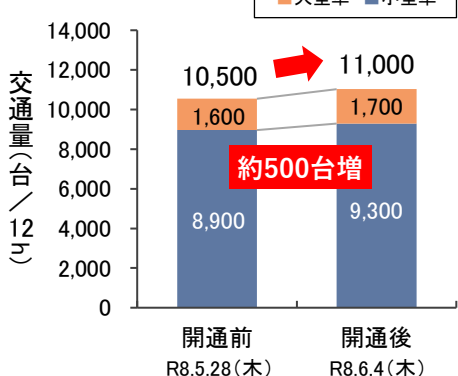
8. その他トピックス 【8-2. 入善黒部バイパス(現道拡幅区間)の開通】

■ 入善黒部バイパス現道拡幅区間(下新川郡入善町梶山～上野)の開通影響

- 令和8年5月29日(金)に国道8号入善黒部バイパス現道拡幅区間(下新川郡入善町梶山～上野)が4車線開通。
- 開通後の交通量は約11,000台/12hとなり、開通前と比較して約500台/12h(約5%)増加。
- また、開通前と比較して旅行速度の向上が確認されており、渋滞緩和による走行性の向上が期待。

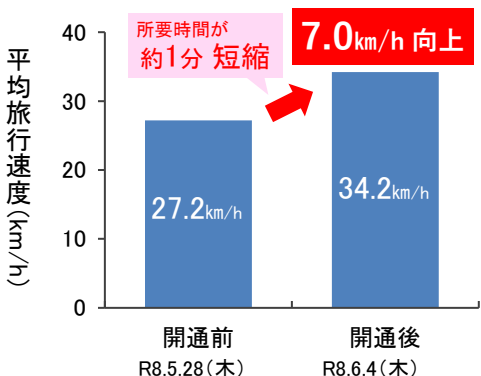


■ 交通量の変化



出典：交通量調査結果

■ 旅行速度(昼間12時間上下平均)の変化



出典：ETC2.0プローブデータ



9. 今後の進め方について

9. 今後の進め方について

■ 今後の検討委員会の進め方

